

こども教育会議 会議録

日時	場所	出席	小松市長、浦郷教育長 教育委員（古場、河内、岡本、森、犬走、奥川、貝原、副島、一ノ瀬） 浅井副市長、松尾こども教育部長、古賀企画部長、学校教育課（竹内課長、佐藤係長）、教育総務課（山田課長、樋渡課長代理）、商工課（秋月課長、朝長参事） 企画政策課（松尾課長、朝重係長、富永、古川）
平成29年6月23日（金） 13:30～14:25	武雄市役所 （本庁） 全員協議会室		
1. 協議件名		第13回こども教育会議 （産業と組むキャリア教育について）	

議事録

内容	<p>1 開会（進行：古賀企画部長）</p> <p>2 議事（議事進行：小松市長）</p> <p>（1）産業と組むキャリア教育について</p> <p>①事業・取り組み紹介</p> <p>⇒冒頭に、学校教育課、商工課、企画政策課から、武雄市のキャリア教育の現状や企業側のニーズ、他県の事例を紹介し、その後出席者で意見交換を行った。</p> <p>②意見交換</p> <p><出席者の意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校で行われている職場体験について、幅広い業種が参加できるように市の協力をお願いしたい。 ・市主催の合同企業説明会を開催してはどうか。小さい企業はマッチングの機会が乏しい。対象は、就職を視野に入れている中学生・高校生・大学生・社会人まで幅広く。 ・市内で就職できる職種が偏っているのでは。研究職、ICT関係、コールセンターの誘致ができれば、子供たちの夢・希望がさらに膨らむのではないか。 ・小学校、中学校だけに限らず、高校まで巻き込んだキャリア教育が必要。市で積極的にアプローチをしていただきたい。 ・子ども達が、自ら将来を切り拓く力が不足してきている。情報社会の普及により、空想と現実の境界をつける力が弱くなった。 鳥栖市に自然体験や農業体験等を行う市村自然塾があるが、当塾はコカ・コーラウエスト株式会社と文部科学省が組んで運営されている。キャリア教育は企業や地元団体とどう組むかが鍵。 ・社会教育を主として子ども達が実体験できるような土曜開校授業を各公民館を拠点に取り入れるべき。 ・職業観を養う必要がある。そのためには職業を知る、その内容を知る、やりがいを知る必要がある。自ら責任を持って職業を選ぶことが大事。 ・会社を創業するということを学校教育で学ぶ機会があれば、雇用する側の考えも養えるのではないか。 ・中学生から家庭と連携したアルバイトの経験があれば、『お金を稼ぐ』ことの意味を知れるのでは。 ・「はなまる学習塾」との連携を活用して、当塾の仕事内容ややりがいを学ぶ機会があれば良いのでは。 ・地元に向けたキャリア教育が大事。職場体験、自然体験等を通して、地域の地場産業、観光産業、農業等の地域の産業を知る機会を作り、子ども達がふるさとを誇りに思う教育が必要。 ふるさと教育を通して、将来を担う一員としての自覚と資質を養うことができる。 ・中学校での職場体験は貴重な体験であり、企業や事業所の開拓が必要。例えば、市内の大型商業施設は職場体験の場に含まれていない。たくさんの業種に触れる機会を提供してほしい。 ・保護者が子どもにしっかり向き合うことが大事であり、日々の生活の中できちんとした大人の行動を
----	--

子ども達に示すことで子どもの将来像に影響を与える。

- ・就職しても長く続かないケースもあり、子ども達にいかに関心を持って仕事に対する情熱を養わせるのか、環境づくりが大事である。職場体験等の学校教育だけでなく、家庭での教育も併せて進める必要がある。
- ・市内企業の紹介をメディアを通じて、子ども達や保護者に伝えることが大事。
企業紹介はサガテレビや佐賀新聞でも行われており、企業内容や働く先輩の出身校も掲載しているため、非常に身近に感じる。今後、市報や地元メディアを活用して地元企業の誇りや強み、働く先輩の話等の企業情報をすばやくキャッチできるような取組みをお願いしたい。
- ・子ども達が、地元企業の特徴や強みを学習できる場があれば地元企業へも目が向くのではないかと。
- ・都会と違って、職業の種類に限りがあり、どうしても職場体験での職種に偏りが出てしまう。そのため、中学校の段階で、高校との連携や卒業生（職業人）の話聞く機会があればいいのでは。
- ・職場体験がキャリア教育のねらいに向かっていくためには、きちんと理念を持って取り組むことが重要。まだキャリア教育についての研修が少なく、今後、計画的に長期的な展望で進めていく必要がある。

<市長の発言>

- ・武雄市の既存産業側からの人材要請に教育がどう答えていくのかが重要である。
- ・武雄市にない職種に対して、どれだけ具体的なイメージを子ども達に持たせることができるのかが大事。例えば、ICTを活用して都会にある職業に触れる機会があれば、子ども達もさらに職業観や選択肢を広げることができるのではないかと。
- ・自分の夢がどこで一番実現できるのか、夢の深堀ができるプログラムがあれば良い。
- ・武雄市の企業が新しい技術を使ったり、他企業と組みながら、新しい分野に挑戦する経営努力について、子ども達はその企業に夢を膨らませることができるように、しっかり伝えることが重要である。その後押しとして、市の産業部局が企業に働きかけを行っていく必要がある。
- ・今日出た意見を整理して、できること、できそうなことをまとめたい。産業側の観点・意向を踏まえて、これからの教育について意見を聞く必要がある。
そこで、もう少しテーマを絞って、再度、議論の場を設けたい。

3 閉会（進行：古賀企画部長）